

企業版ふるさと納税を活用した
まちを特徴づける文化づくり
— 異文化交流を図る姉妹都市との取組 —



ホノルル ちがさき 姉妹都市

茅ヶ崎市 企画政策部
秘書課 姉妹都市担当

茅ヶ崎市の概要

笑顔と活力にあふれ
みんなで未来を創るまち茅ヶ崎



- 人口約24.5万人（令和6年1月時点 国勢調査から推計）
- 東京駅までのアクセス約1時間（JR東海道線 上野東京ラインで1本）
- 湘南エリアの中心の位置する約6キロメートル四方のコンパクトな街で
県内自転車利用割合1位
- 世界のベストスマールシティ25で5位にランクイン（2020年）

古くから茅ヶ崎のサーフショップがハワイのサーファーたちの日本の拠点になっていたり、フラダンスの教室が多く点在するなど市民レベルの交流が行われていた。



共通の風土や文化を有している為、市民からホノルル市・郡と姉妹都市になった方が良いという要望、機運の高まりにより、市役所が締結のための働きかけをホノルル市・郡に行う。



1930年ごろ



1990年ごろ



2004年アロハマーケット初開催



茅ヶ崎らしさ

アロハスピリット

茅ヶ崎の先人たちが築き上げてきた
「まちのアイデンティティ」が姉妹都市友好協定締結につながった



異文化交流 = 自らの地域の魅力を再確認し、見つめなおす契機になる



シビックプライドのさらなる醸成へ

ホノルル市・郡との姉妹都市友好協定締結

笑顔と活力にあふれ
みんなで未来を創るまち茅ヶ崎



2014（平成26）年10月24日（ホノルル現地時間）

ハワイ州ホノルル市・郡と姉妹都市友好協定を締結

○国際理解を通じたグローバル時代に対応する人材の育成を推進すること

→次世代交流

○姉妹都市交流の重要な担い手である市民や民間団体による多面的な交流の促進を行うこと

→経済交流

○異文化コミュニケーションを通じて地域における多文化共生へ貢献すること

→文化交流



■サーフィン協会同士の交流

ハワイサーフィン協会と茅ヶ崎サーフィン協会・日本サーフィン連盟茅ヶ崎支部が友好提携協定を締結（2014年6月2日）

- お互いの市長の名前を冠したサーフィン大会の開催
- 交流事業として茅ヶ崎サーフィン協会所属選手の子どもたちをホノルルに派遣

■フラの交流

1990年ごろから、茅ヶ崎にたくさんのフラ・ハラウ（教室）が設立される。今では100以上あると言われており、優勝者はハワイの大会に出場できる国際大会も開催。



■ホノルル美術館所蔵「ハワイアンキルト展」を開催 （茅ヶ崎市美術館 2017年9月10日～11月5日）

○ハワイ王朝の時代に制作された、極めて貴重な作品を含むヴィンテージ・
ハワイアンキルト20点を展示

■「ヴィンテージアロハシャツの魅力 COLLECTION by SUN SURF」を開催 （茅ヶ崎市美術館 2020年9月12日～11月8日）

○黄金期とされる1930年代～1950年代にかけて作られた貴重な
ヴィンテージ品約130点を展示



■アロハマーケット

毎年5月に開催される茅ヶ崎市を代表するイベント、物販やフラステージやワークショップを行うイベント
ハワイからの出店もあり2日間で4万人以上が訪れた年も。
教育プログラムではハワイのゲストが小学校で授業を行う。

■ホノルルミーツ

毎年10月に開催される「姉妹都市ホノルルと出会う」をコンセプトに文化や歴史に触れられる体験や、ステージ、物販を用意して、多くの方に姉妹都市ホノルルを身近に感じてもらうイベント



フラの発表（アロハマーケット）



ウクレレ教室（ホノルルミーツ）



ヨガ教室（ホノルルミーツ）

■経済交流

2014（平成26）年10月24日（現地時間）
茅ヶ崎商工会議所・ハワイ商工会議所が姉妹会議所提携に合意
（ホノルル日本人商工会議所とも交流事業を実施）

- ・茅ヶ崎アロハマーケットにホノルルから事業者が出店
- ・ホノルルのアラモアナセンターで物産展「茅ヶ崎フェア」を開催
- ・ハワイ商工会議所、ホノルル日本人商工会議所による茅ヶ崎視察



ハワイ事業者の出展



ホノルルでの「茅ヶ崎フェア」



茅ヶ崎市内農家への視察

■茅ヶ崎市青少年海外派遣事業

- 茅ヶ崎より小学4・5年生 計4名をホノルルへ派遣
（2018年3月）
- 茅ヶ崎より小学4・5年生 計6名をホノルルへ派遣
（2020年3月→**新型コロナウイルス感染症の影響で中止**）
- ・現地児童との多言語交流プログラム「Global Connections」に参加
- ・ハワイ日系移民150周年を記念し、「The Ocean Connects Us」をテーマに、現地児童とのグループワークやフィールドワークを実施
- ・派遣事業終了後は、市役所や5月に開催されているアロハマーケットにて、報告会を実施



コールドウェル市長への表敬



現地児童との集合写真



グループワークの様子

■ホノルル市青少年受入事業

○ホノルルの小学5年生 計7名が茅ヶ崎市へ来訪
(2019年3月)

- ・市役所以外にも、地域、学校、民間企業が協力
- ・体験プログラムとして、お伊し農園での農業体験、湘南富士美での和菓子作り体験、連凧作り、凧揚げ体験、和食調理実習体験を実施
- ・2021年3月→**新型コロナウイルス感染症の影響で中止**



佐藤市長への表敬



ホノルルの小学生との集合写真



体験プログラムの様子

■梅田小学校旧5年5組の取り組み

○「茅ヶ崎市のよいところ」を伝えたいと、梅田小学校5年5組の生徒の皆さんが総合学習の一環で実施（2021年10月～2022年5月）

- ・茅ヶ崎市のために自分たちが何かできることはないかと考えた結果、良いところを伸ばしていくことに決めて、姉妹都市の周知・啓発をすることにした。
- ①「夏だけではなく、一年中身に着けられるように」と、不要なアロハシャツをリメイクし、お守りを作成し、市内各所で配布。
- ②「ホノルルの海のように茅ヶ崎市の海も綺麗にしたい」とビーチクリーンを実施。保護者の方々にも呼びかけ、全3回実施し、拾ったごみ（主にマイクロプラスチックや木）を再利用して作品を作った。
- ③誰もが身近な食文化を通じてホノルルとの交流を深めたいと動画を作成。作成した動画はホノルルの小学校へ送信。

★2022年5月に実施した市内イベント「アロハマーケット」に参加。多くの来場者にアロハお守りを配布、取り組みについて説明をした。



■マウイ島大規模火災ちがさき義援金

2023年8月8日に発生したハワイ州マウイ郡における大規模火災において被災された方々への支援を行いたいという市民の要望に市が答える形で義援金の受付を開始。

2か月の間に市民や関係団体などから約188万円の寄付をいただきました。

フラの発表会で寄付を呼び掛けてくださった団体さん、
文化祭で募金活動をしてくださった高校生、
チャリティライブ行ってくださった団体さん、
サーフィン協会や地元企業やお店等、
様々な方からの温かい寄付を頂き改めて、
茅ヶ崎市民の心に根付いたアロハスピリット
を感じることができました。

マウイ島救援金受領証明書

この度は、マウイ島へのご支援誠にありがとうございます。

ホノルル市・郡姉妹都市交流委員会

委員長 朝倉利之 様

受領日 2023年 11月 15日

受領金額 ￥ 1,882,200

上記の金額を受領いたしました。

お預かりした救援金は、ハワイ州観光局が責任をもってマウイストロング基金に寄付いたします。

株式会社ソーシャルキャピタル・プロダクション
(ハワイ州観光局 日本支局)
東京都千代田区一番町 29-2
一番町ビル 1階
Email: donation@htjapan.jp

■アロハマーケット教育プログラムのゲスト増員

ハワイからのゲストを増員し、より多くの子どもたちに学び場の提供を目指します。

■茅ヶ崎市青少年海外派遣事業の人数増員

適正な実施方法を模索しながら、子どもたちが最大の効果を得られるよう派遣人数の増員を目指します。

■道の駅を姉妹都市交流の場に！

アロハのエッセンスを盛り込み、市民も観光客も楽しめる施設を目指します。



ミスハワイによる特別授業



派遣児童の報告会



道の駅（令和7年7月完成予定）15

- ESG投資、CSRの達成に向けた社会貢献の中で本事業に参画することで企業のイメージアップ
- 寄附をきっかけとした協業等
- 市ホームページ等の掲載による広報支援
- 実施事業における寄付企業名の周知（チラシ、啓発物品等における寄付企業名の掲載

今年、姉妹都市友好協定締結10周年を迎え、興味・関心を持っている市民が増えております。市民のニーズに応え、さらに活動を広げてくため、皆様のお力添えをお願いいたします。



ご連絡先：秘書課（姉妹都市担当）
TEL：0467-82-1111（内線：1544）
MAIL：hisho@city.chigasaki.kanagawa.jp